



考えてる?

# 「ワーク・ライフ・バランス」

**入場無料**  
予約不要

—自分らしく生きるために—

今、なぜ、ワーク・ライフ・バランスが必要なのでしょう。

ワーク・ライフ・バランスとは、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発等、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態をいいます。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらしますが、同時に、家事・育児、近隣とのつきあいなどの生活も暮らしには欠かすことはできないものであり、その充実があってこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

しかし、現実の社会には、仕事と生活の間で経済的な問題、健康問題等を抱える人が多くいます。また、かつては、夫が働き、妻が専業主婦として家庭や地域で役割を担うという姿が一般的でしたが、今日では、人々の生き方が多様化し、働き方や子育て支援などの社会的基盤は必ずしもこうした変化に対応したものとはなっていません。

今こそ、社会全体で、仕事と生活の双方の調和の実現を求めていくことを一緒に考えてみませんか。

## 日時・場所

平成28年 **10.22(土)**

時間 13:30 ~ 16:30

**きらめきプラザ** 岡山市北区南方2丁目13-1

## Program

### ■第1部 基調講演 女性活躍とワーク・ライフ・バランス(WLB)

…均等施策とWLB施策は両輪で

脇坂 明氏 (学習院大学教授)

### ■第2部 対談

脇坂 明氏 (学習院大学経済学部教授)

張替 勉氏 (株式会社ストライブインターナショナル)

田中 将之氏 (弁護士 岡山弁護士会所属)

## 講演者 紹介



**脇坂 明** 学習院大学経済学部教授

1982年京都大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学、岡山大経済学教授をへて、1999年より現職。経済学博士(京都大学)。2011-13年経済学部長、2014-15年図書館長。厚生労働省今後の仕事と家庭の両立に関する研究会委員、東京都男女平等参画審議会委員など歴任。現在キャリアデザイン学会副会長。著書：『職場類型と女性のキャリア形成・増補版』御茶の水書房 1998年、『日本型ワークシェアリング』PHP研究所 2002年、『労働経済学入門』日本評論社

2011年など。2007年学習院大学経済経営研究所でWLB(ワーク・ライフ・バランス)指標を開発。『経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス』学習院大学経済経営研究所編 第一法規 2008年。

## 対談者 紹介

**張替 勉** 常務取締役、管理統括本部長  
株式会社ストライブインターナショナル(旧社名：株式会社クロスカンパニー)

同社は、岡山を本社とするアパレル企業であり、従業員数約5000名、うち女性社員は約9割を占める。短時間勤務制度をはじめ、「イクメン推進休暇」、「大切な人休暇」等多彩かつ特徴的な制度を導入し、家庭と仕事の両立、ライフスタイル構築に向けた支援を積極的に行っている。また、これらの取り組みが認められ、厚生労働大臣より女性活躍推進法に基づく女性の活躍推進に関する優良事業者に贈られる「えるぼし」の最高認定を中国地区第一号として受けている。

**田中 将之** 弁護士 岡山弁護士会所属

平成17年～ 岡山弁護士会弁護士登録

平成23年～ みどり法律事務所代表弁護士

現在 岡山弁護士会副会長

※公共交通機関をご利用ください。 ※館内での喫煙はご遠慮ください。



主催 岡山弁護士会  
後援 岡山県(申請予定)、岡山市(申請予定)、倉敷市(申請予定)

■お問い合わせ先

岡山弁護士会 岡山弁護士会

検索

TEL086-223-4401(代) 〒700-0807 岡山市北区南方1-8-29